

体育館の倉庫でパ
イパンパイチン男
女幼馴染學生が汗
まみれシツクスナ
イン 宙を舞う若
き天使二人

学校の屋上で紺色の制服を着た女子が
一人、

三週間後に控えた学園会でステージ披露する小さなダンスの練習をしていた。

すぐそばには黒いラジカセ。音が流れている。

はるか遠くまで澄み渡る青空。

男子学生が階段を駆け上がってきた

「リナ！！！！先輩の吉川さんが呼んでるぞ！！」

リナは振り向く。

風でスカートが少しめくれ、若く瑞々しい太ももとほんの少しだけ皺が入ったピチピチの膝が見える。

「部活のミーティングのことかな??」

リナの小さな手を引いて男子学生のコウイチは階段を駆け下りていく。

屋上を隅々まで照らす太陽。

・ ・ ・ ・ ・ 夏の初めのこと。

二人は空に上った。

何故なら、体育館の隅っこの跳び箱や体操授業の分厚い白いマットが置かれた倉庫で

二人が汗まみれになってシックスサインをしていたからである。

どこまでも青い空にはツバメや大鷲（お
おわし）が自由に舞っている。

夏の暑さに誘導されるように

二人は青空へと上っていった……………。

「んちゅ・・・・・・・・くぶぷちゅう・・・・・・・・
美味しいよおっ、コウイチ」

二人は性器を舐め合う。

リナは目いっぱい足を広げている。

厚い白マットは年季を思わせる黒ずんだ汚れがところどころに入っている。

長年先輩たちがこの学校で使い古してきたものだ。

そこに、

とある初体験カップル一組の汗が滲む。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)